

地域食材「雑穀」の活用（久万高原農業指導班）

久万高原地域では古くから地域食材である雑穀が栽培され、郷土料理も多く残っていますが、食生活の変化等により雑穀の生産量も減少傾向にあります。そのため、「久万高原地域食材伝承事業」を活用し、貴重な食文化の伝承とあわせて、新たな需要創出と生産拡大を推進しています。

これまでに雑穀を用いた郷土料理の動画発信や町内学校等を対象とした郷土料理講座等を開催。食文化の伝承を図るとともに、上浮穴高校や福祉施設と連携して新商品を開発し、一般販売につなげることができました。また、専門家が開発した雑穀メニューを町内飲食店等で提供するための調理講習会やイベント等でのPRにより、需要の創出と認知度向上を図ることで、徐々に生産者も増加しています。

今後も新規栽培者の確保や栽培技術の向上を図り、地域農業の活性化に努めます。



福祉施設による商品販売会



雑穀カレーナンの調理体験



「地とうきび」を使った料理

パクチーの産地振興と販売促進（産地戦略推進室）

パクチーは、管内の標高差を利用したリレー栽培により、周年生産できる産地としての地位を確立してきました。しかし、近年の夏季高温により生育不良や芯腐れ症が発生し、秋季も高温による発芽不良や生育後半の低温による生育遅延があるため、播種のタイミングが難しく、より詳細な技術対策が必要となりました。そこで、実証ほの栽培データを基に、初夏～秋播きでのきめ細かい標高別栽培暦の作成と、カルシウム剤散布による芯腐れ対策法を確立し、技術改善に繋げました。

また、中予産パクチーの知名度向上と需要拡大のため、主な出荷先である大阪市場でのPR活動を行いました。市場からは中予産パクチーのボリュームと品質の良さが評価され、更なる増産が望まれました。今後もパクチーの産地振興に取り組んでいきます。

標高	初夏播き				栽培不可能期間	秋播き			
	播種期間		収穫期間			播種期間		収穫期間	
	播種始め	播種限界	収穫始め	収穫限界		播種始め	播種限界	収穫始め	収穫限界
100m未満	5/1	6/5	7/20	7/20～8/25	8/25	9/30	10/中	12/中	
200m		6/15			6/中	8/1	8/20		9/25
400m		6/25	8/10		8/10～8/15	8/15	9/20		9/下
500m		標高500m地域では5/1～9/15の間、播種できる				9/15	—		11/下
カルシウム剤の散布方法	播種後3週間後(本葉4～5枚時)よりカルシウム剤(800倍)の葉面散布(週1回)を行う								



収穫されたパクチー



パクチーかき揚げうどんの試食会（大阪市場）

標高別栽培暦と芯腐れ症対策（初夏～秋播き）

愛媛かんきつの新品種「紅プリンセス」

「愛媛果試第 48 号」(紅プリンセス)は、「愛媛果試第 28 号」(紅まどんな)と「甘平」を掛け合わせて作られた品種で、濃厚な甘みとゼリーのような食感が特徴です。糖度や外観など一定の基準を満たしたものが、「紅プリンセス」として認められ、令和 7 年 3 月 1 日に本格販売が開始されます！

昨年実施した関東での市場調査では、市場や販売店から食味について高い評価を得られました。また、消費者や市場からも柑橘王国愛媛の新品種として期待が大きく、栽培面積や生産量の更なる増加が求められています。そのため、現地実証試験等を通じて、安定生産技術の確立と普及を目指します。



収穫期の紅プリンセス
(出典：愛媛県 HP)

始動!

愛媛お手伝いプロジェクト

中予地域のかんきつ収穫時期の労働力確保のため、県、JA えひめ中央、人材派遣会社(株式会社 VOCE)が連携し、今年度から社会人や学生等を対象とした農業ボランティア「愛媛お手伝いプロジェクト」の募集を開始しました。

松山市潮見地区と興居島地区のかんきつ産地をモデル地区として社会人等のボランティアの受入れを実施。参加者は農家から依頼のあったせとかの袋掛けや伊予柑等の収穫作業をお手伝いしました(12 月末時点で 79 人が参加)。

今後は、同プロジェクトをモデル地区以外にも拡大するとともに、企業や大学、県職員等へのボランティア参加を働きかけ、農繁期の労働力確保を図ります。



プロジェクト HP



ボランティアによる収穫作業

～農家の声～

他産業の人とも交流できて良い刺激となった。今後も続けて活用したい。

周知

スクミリンゴガイの防除対策を徹底しましょう

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の被害防止には、冬季の対策が有効です。発生地域では越冬貝の密度を下げるため、耕うんや水路の泥上げ等による物理的破壊や寒風へのさらしを行い、被害の軽減に努めましょう。

また、椿油かすはスクミリンゴガイの駆除には使用できません。椿油かすを防除目的で使用した場合は農薬取締法違反となりますので、必ず登録のある農薬を使用してください。



スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)



産卵塊



スクミリンゴガイに登録のある
主な農薬